

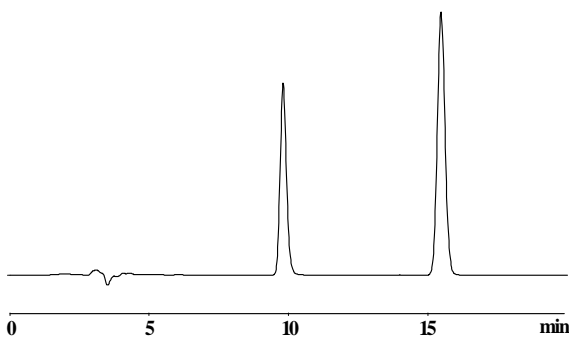
## 生薬（甘草）の分析

### Glycyrrhizic acid, p-Hydroxybenzoic acid n-propyl ester

生薬である甘草の有効成分のグリチルリチン酸は抗炎症作用、抗アレルギー作用が認められ、また食品添加物の甘味料として使用されています。日本薬局方で記載の甘草中グリチルリチン酸の定量法である液体クロマトグラフ法ではグリチルリチン酸、パラオキシ安息香酸プロピルの順に溶出し、2つが完全に分離する ODS カラムの使用が指定されています。

ここでは日本薬局方に準拠した方法で抽出～分析を行いました

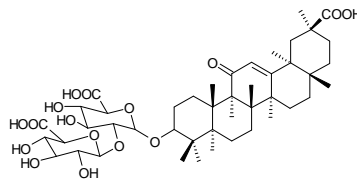
#### 【標準品】



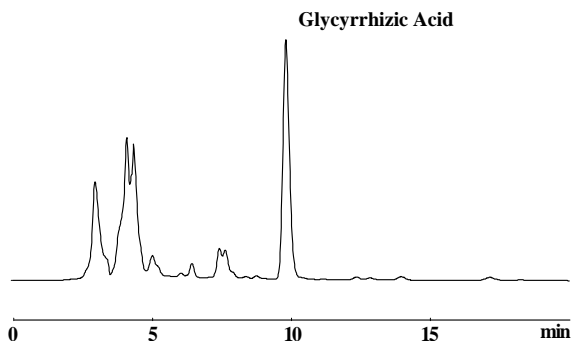
#### Analytical Conditions

**Column** : L-column ODS 4.6mm × 150mm  
**Mobile phase** : CH<sub>3</sub>CN / CH<sub>3</sub>COOH ( 1 15 ) ( 40/60 )  
**Flow rate** : 0.5mL/min  
**Temp.** : 20  
**Detector** : UV254nm  
**Injection volume** : 10μL  
**Sample** :

Glycyrrhizic Acid ( 0.25mg/mL )



#### 【甘草中のグリチルリチン酸】



p-Hydroxybenzoic Acid n-propyl Ester ( 0.05mg/mL )

